

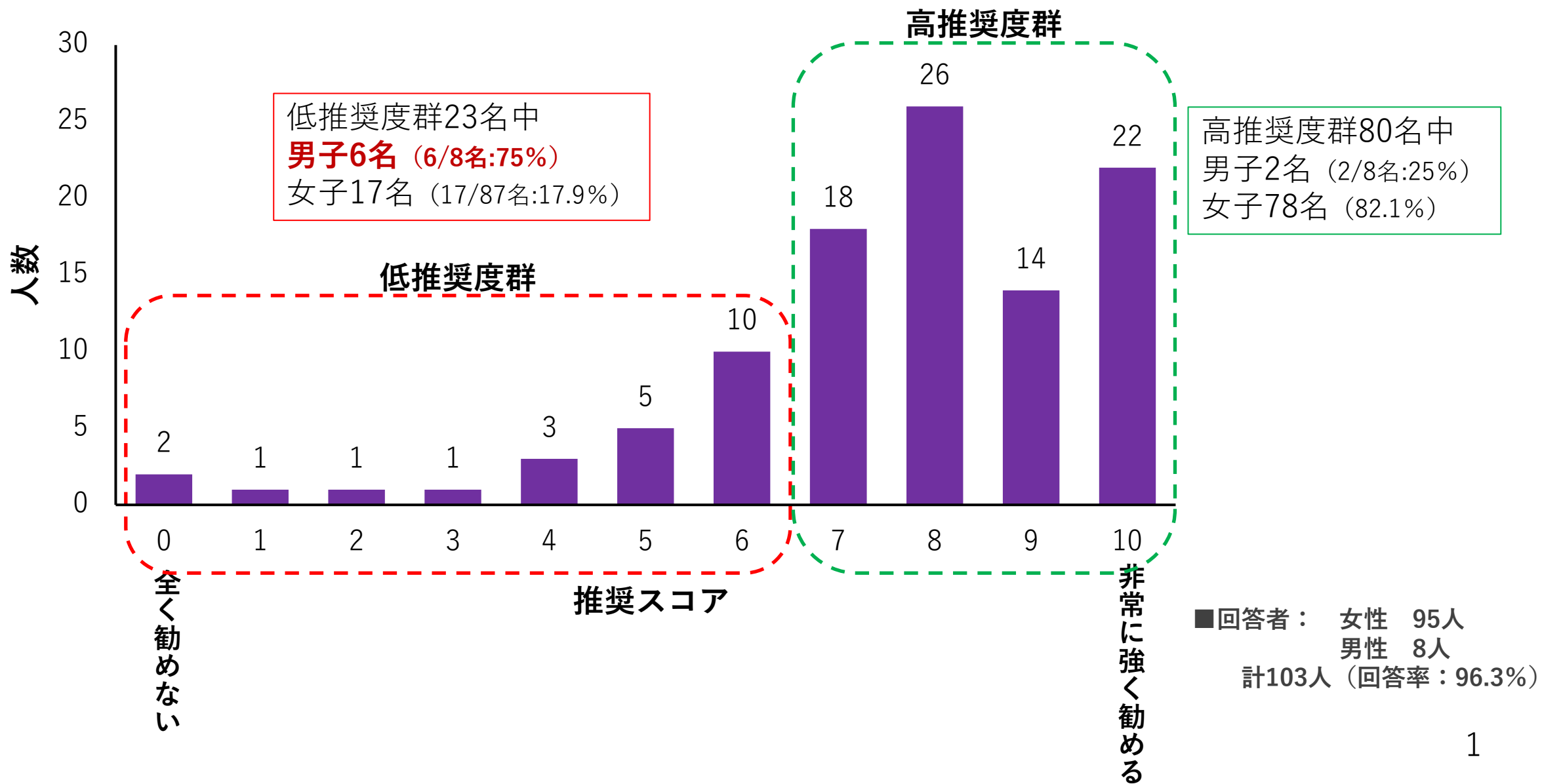
一期生の卒業時アンケート分析

母校の推奨度に影響する因子について

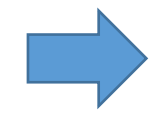
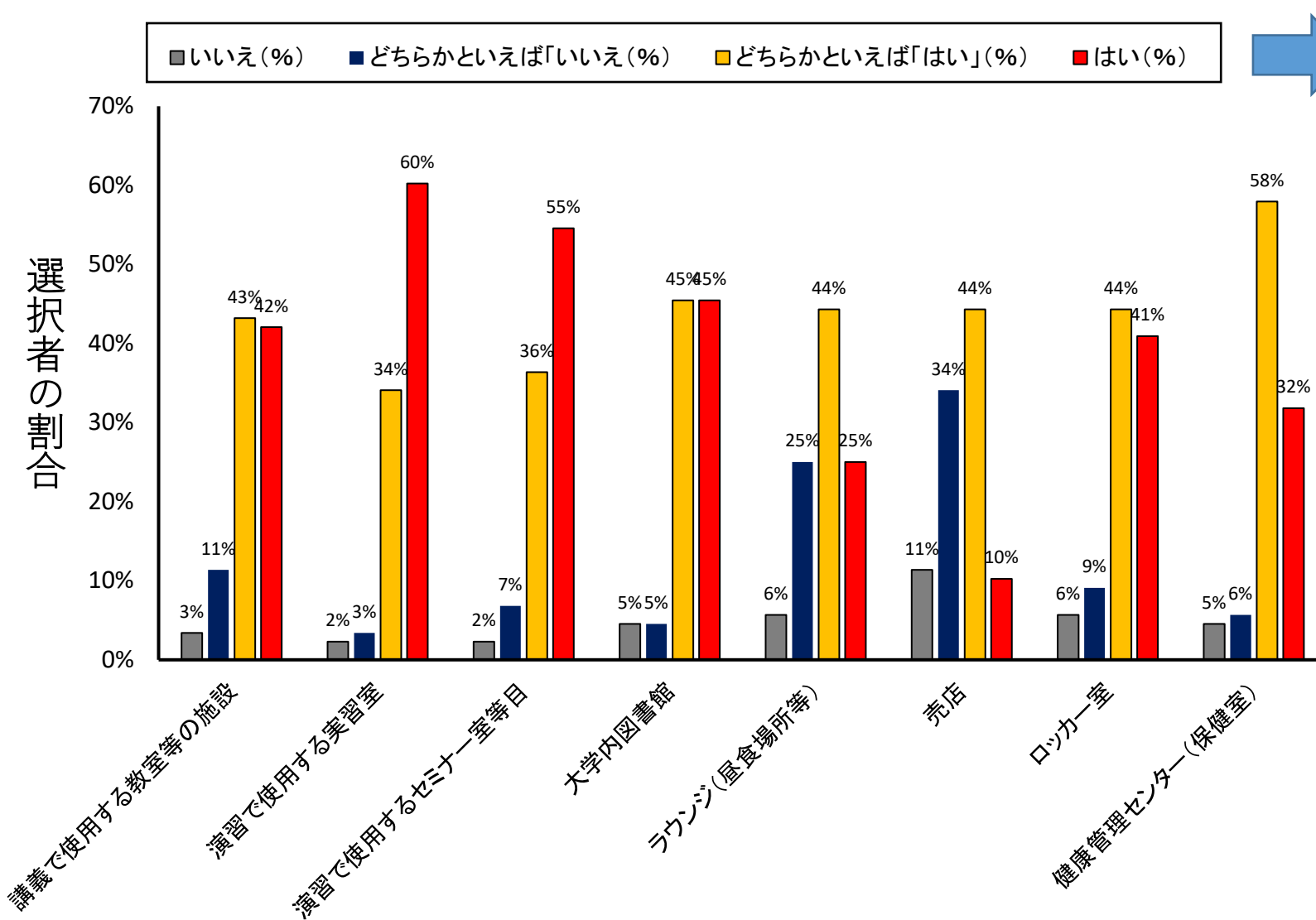
教育支援・教学IR室
室長 大久保つや子

2021/07/28

「問11. あなたは福岡看護大学を高校の後輩にどの程度お勧めしたいと思いますか。」の分析結果から見えてきたもの



「問7.福岡看護大学の施設・設備に満足できましたか。」の分析結果と 推奨度の関連性を見る試み



各学生の回答を点数化して、
問11の結果（母校の推奨度）
との関連分析を試みた。

いいえ：0
 どちらかといえばいいえ：1
 どちらかといえばはい：2
 はい：3

つまり、点数が高ければ**満足度**
 が高いと判断できる。

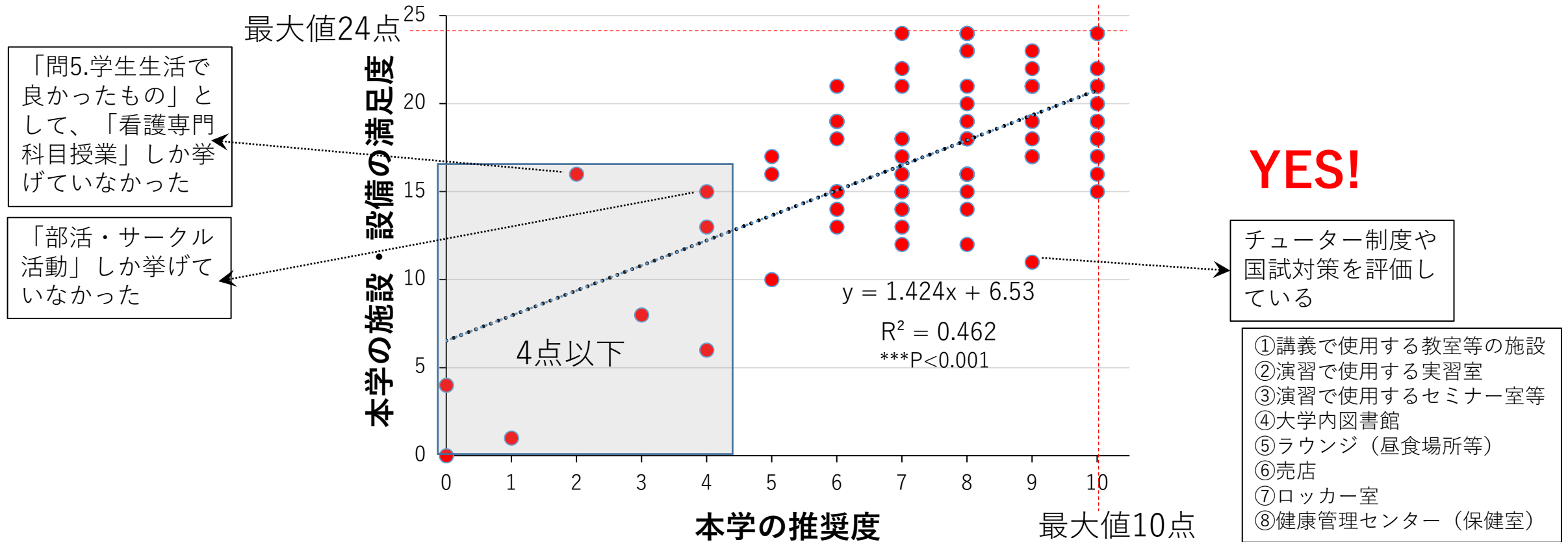
満足度総計
 3点X 8項目 = 24点（最大値）

大学の施設・設備に対する満足度は、母校の推奨度に有意に影響しているか？

相関性？

「問7.福岡看護大学の施設・設備に満足できましたか。」における8つの項目への満足度（いいえ：0～はい：3で判定）の学生ごとの総計点数（縦軸）

「問11. あなたは福岡看護大学を高校の後輩にどの程度お勧めしたいと思いますか。」における推奨度（0～10）（横軸）

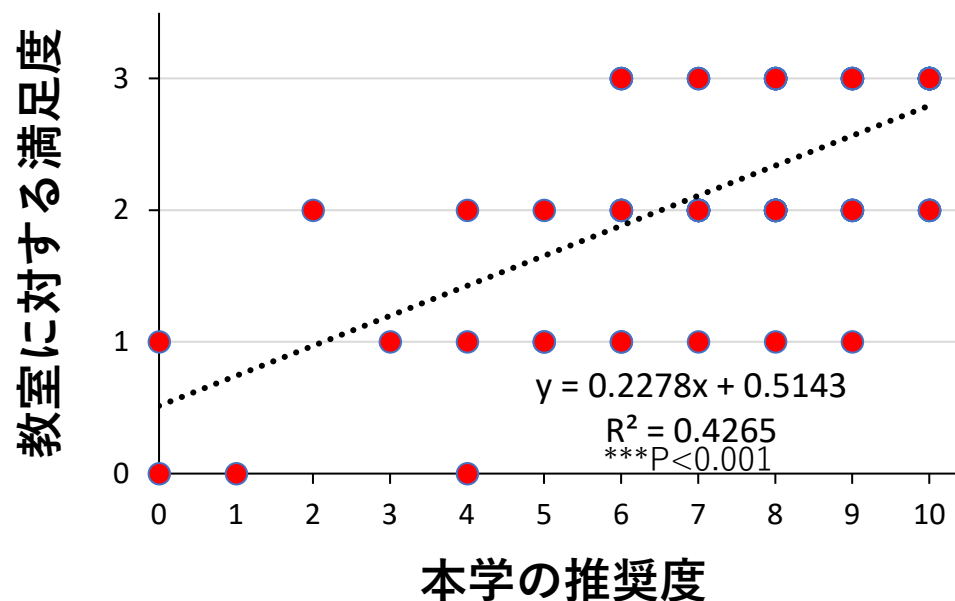


講義で使用する教室等の施設に対する満足度は、母校の推奨度への寄与度が高い

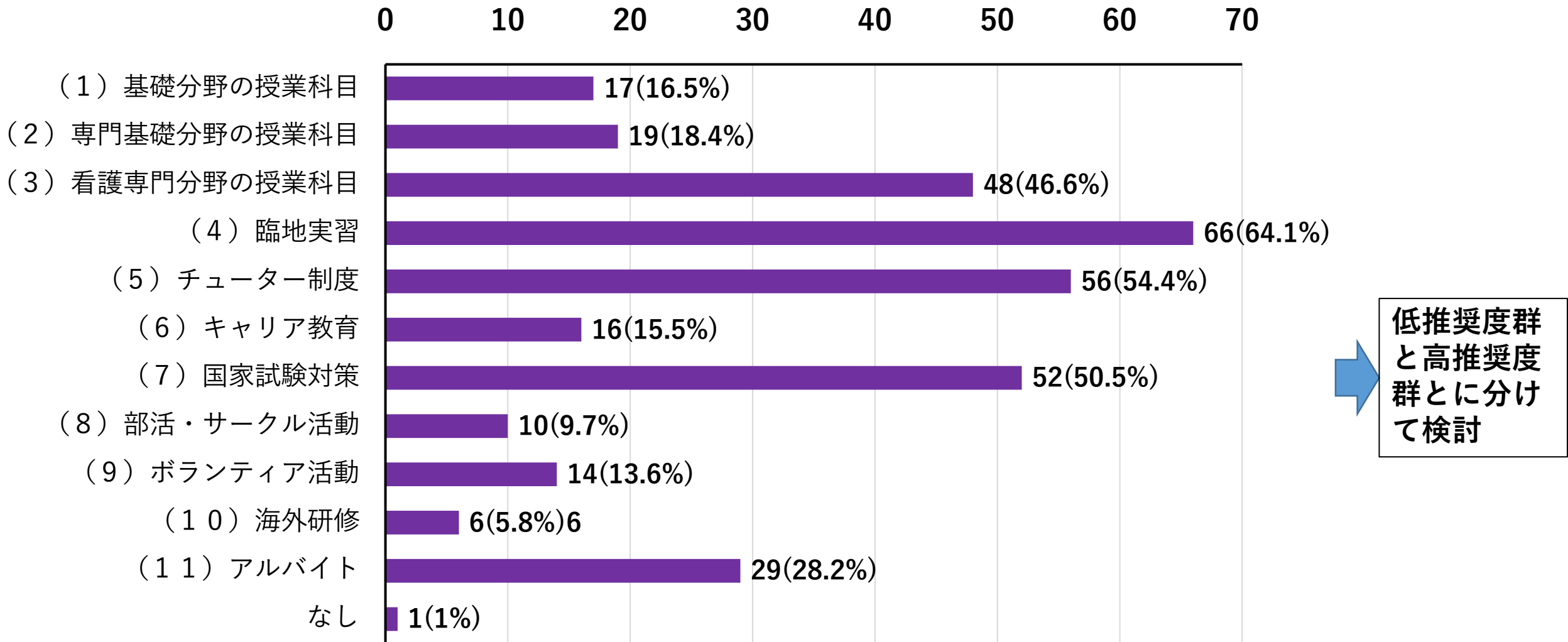
相関性

- 「問7.福岡看護大学の施設・設備に満足できましたか。」における**講義で使用する教室等の施設**への満足度（いいえ：0～はい：3で判定）
- 「問11. あなたは福岡看護大学を高校の後輩にどの程度お勧めしたいと思いますか。」における**推奨度**（0～10）

講義で使用する教室等の施設



「問5. あなたの勉学や学生生活にとって、良かったと思うものは何ですか（複数回答5つまで）」の分析結果と推奨度との関連性を見る試み



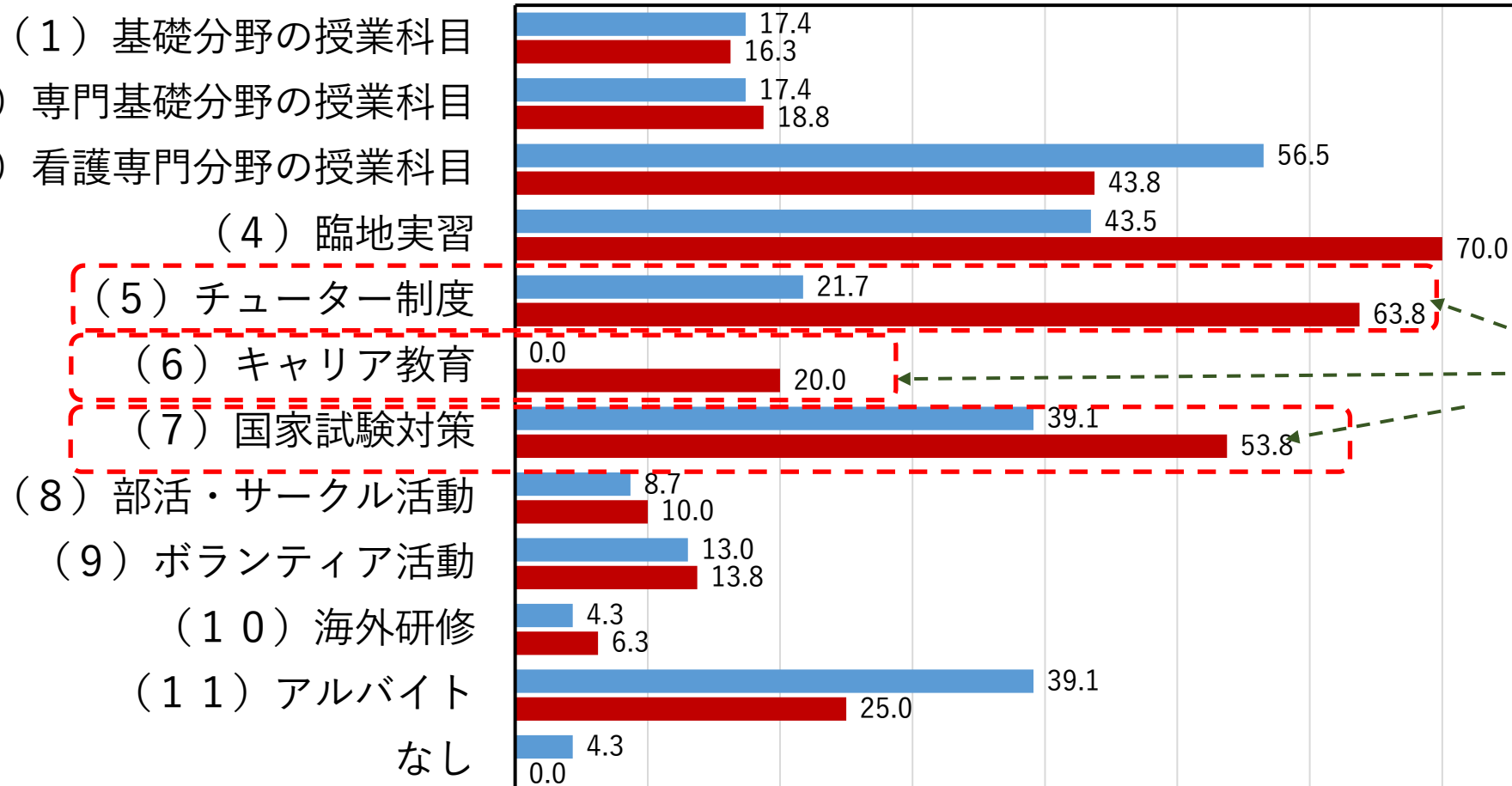
低推奨度群（6以下と回答した23名）と高推奨度群（7以上と回答した80名）の比較分析からみえてきたものは？

低推奨度群23名（0-6点）と高推奨度群80名（7-10点）の比較

■ 低推奨度（0-6） ■ 高推奨度（7-10）

0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 (%)

選択人数
各群の総数



低推奨度群において、本学の学生支援に関する評価が著しく低い。

母校への推奨度に関する結果及び考察

1. **大学の施設・設備への満足度が低いと、母校推奨度も低い傾向があり、両者に相関性が認められた。**中でも、教室や実習室への満足度がその相関に寄与していた。
2. **低推奨度群において、本学の学生支援活動であるチューター制度やキャリア支援・国試対策を挙げた学生数が著しく少なかった。**一方で、授業やアルバイトと答えた割合は高い傾向にあった。
3. **低推奨度群における男子学生の割合が著しく高かった。**

以上のことから、

- ①母校への推奨度を上げるためには、施設・設備の快適さを確保することがやはり重要である。
- ②低推奨度群において、本学の学生支援活動に関する評価が著しく低いことから、**これらの学生達への支援が十分では無かったり、チューター教員との関係性が十分ではなかったなどの原因**が考えられる。
- ③満足度が低いのに推奨度が高いケースでは学生支援活動が評価されていたり、逆に大学の施設・設備への満足度が割に高いにも関わらず推奨度が低いケースでは学生支援活動が評価されていない、などの例が幾例もみられたことから、「**学生支援力**」が施設・設備への不満をカバーできていた可能性がある。

今回の推奨度分析については、一期生は入学者が117名と多く、教室後方まで座席を設定せざるを得なかったり、スクリーンからの角度が極端に悪い座席が生じたなどから、受講の公平性が担保できないなど、設備への不満を生む状況があったこと、また、開学間もないことから生じた様々な教育上のシステムの綻びなどもこの結果に影響を与えたこと、等々の影響は否めないが、**推奨度を上げる因子としての「学生支援力」**については、**今後さらに大学レベルと教員レベル共に力を入れて修正していくべき課題**かと思われる。